

BF-850

取扱説明書

保証書付

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、
正しくお使いください。

本書はお読みになった後も大切に保管してください。

CASIO®

目次

金融計算一覧	4	■ローン(借りる)計算のしかた	14
安全上のご注意	6	元利均等のローン計算(固定金利) 操作手順	15
使用上のご注意	8	元利均等のローン計算(段階金利) 操作手順	18
はじめに	9	元金均等のローン計算(固定金利) 操作手順	21
■電源の入れかた・切りかた	9	■年賦償還計算のしかた	24
■オートパワーオフ機能	9	年賦償還計算 操作手順	24
■計算を行う前に	9	■繰上返済・借換計算のしかた	28
金融計算機能の使い方	10	繰上返済計算 操作手順	28
■金融計算の例	10	借換計算 操作手順	35
■金融計算のご注意	11	■預金(貯める)計算のしかた	39
■各種金融計算に共通の基本操作	12	定期預金の計算 操作手順	41
■画面の表示について	13	積立預金の計算 操作手順	42
		外貨預金の損益の計算 操作手順	43
		外貨預金の損益分岐の計算 操作手順	44
		■金融計算メモリの使い方	45
		■設定のしかた	48
		金融計算の設定	48
		コントラスト調節	50
		初期化のしかた	51

一般的な計算のしかた	51
付録	53
■表示用語一覧	53
■年賦償還・繰上返済・借換で用いる 計算法について	66
■電池交換のしかた	67
■主な仕様	68
■保証・アフターサービスについて	巻末
■保証規定	巻末
保証書	巻末

金融計算一覧

計算の種類	種類	金利	支払い	計算項目	説明 ページ	操作例 ページ	備考
ローン	元利均等	固定金利	月々支払い	返済額	14	15	
				月数		16	
				利率		17	
				借入額		17	
			ボーナス併用払い	返済額		18	
				借入額		—	
	段階金利	月々支払い	返済額	18	19		
			借入額		—		
		ボーナス併用払い	返済額		20		
			借入額		—		
元金均等	固定金利	月々支払い	返済額	21	22	*1	
			月数		—		
		ボーナス併用払い	返済額		23	*1	
年賦償還*3	—	固定金利	月々支払い	返済額	24	25	*1
			ボーナス併用払い	利息、元金		26	*1
		段階金利	月々支払い	返済後残高		—	*1
			ボーナス併用払い	返済総額		27	*1

*1 年月指定と回数指定が可能です。

*2 新規ローンが年月指定か回数指定かは借換前の旧ローンと同じになります。

*3 年賦償還、繰上返済、借換は全て元利均等になります。

計算の種類	種類	金利	支払い	計算項目	説明 ページ	操作例 ページ	備考
繰上返済*3	期間短縮	固定金利	月々支払い	利息軽減額 繰上後残高	28	29	*1
			ボーナス併用払い			31	*1
		段階金利	月々支払い			—	*1
			ボーナス併用払い			32	*1
	金額軽減	固定金利	月々支払い			33	*1
			ボーナス併用払い			33	*1
		段階金利	月々支払い			—	*1
			ボーナス併用払い			34	*1
借換*3	旧ローン	固定金利	月々支払い	返済総額 返済総額の差	35	36	*1
			ボーナス併用払い			—	*1
		段階金利	月々支払い			—	*1
			ボーナス併用払い			38	*1
	新規ローン	固定金利	月々支払い			36, 38	*2
			ボーナス併用払い			—	
		段階金利	月々支払い			—	
			ボーナス併用払い			—	
預金	定期預金	複利	—	受取額	39	41	
			預金額	41			
	積立預金	複利	—	受取額	42	42	
				積立額		43	
	外貨預金	単利	—	預金	43	44	
損益分岐				44	45		

安全上のご注意

このたびは本機をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。なお、本書はお読みになった後も大切に保管してください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電池について

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 分解しない、ショートさせない
 - ・ 加熱しない、火の中に投入しない

- ・ 充電しない
- ・ 極性(+と-の向き)を正しく入れる

- ボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲みこむことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意願います。
- 電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

火中に投入しない

- 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池について

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 本機で指定されている電池以外は使用しない
 - ・ 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

使用上のご注意

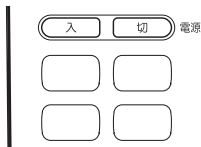
- 極端な温度条件下や急激な温度変化のある場所での使用や保管は避けてください（使用温度0℃～40℃）。
- 湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。
- 「ひねり」や「曲げ」を与えないでください。
- ボールペンなどの鋭利なものでキー操作をしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。
- 付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本機使用や故障により生じた損害・逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

はじめに

■ 電源の入れかた・切りかた

入 を押すと電源が入ります。**切** を押すと電源を切ることができます。



■ オートパワーオフ機能

本機はムダな電力消費を防ぐため、一定時間キーを押さないでいると、自動的に電源が切れるようになっています。**入** を押すと、再び電源が入ります。電源が切れるまでの時間は、約6分です。

■ 計算を行う前に

- 数字の入力を間違えたときは、**C** (クリア) を押したあとに正しい数字を入力します。
- 金融計算の途中でキーを押し間違え、金融モードを抜けてしまったときは、再度 **固定金利**、**段階金利** など目的の金融計算キーを押して、最初から入力し直します。
- 金融計算の入力画面中も、電卓としての演算機能 (四則演算、%計算など) が使えます。**入力/決定** を押すと、その計算結果が入力されます。
- エラーが発生した場合、表示窓左端に“E”が表示されます。入力画面中のときは、**C** を押したあとに正しい数字を入力します。
- 金融計算の入力画面では、前回入力した数値が表示されます。

金融計算機能の使い方

本機は画面に表示されるいくつかの質問に答えるだけで、様々な金融計算が行えます。

■金融計算の例

1000万円を年利2.6%の20年ローンで返済すると、月々の返済額/返済総額/利息分は、それぞれいくらになるか計算してみましょう。

条件: 元利均等で固定金利、月々支払い(ボーナス併用なし)とします。

操 作	表 示
-----	-----

1) ローン計算(元利均等、固定金利、月々支払い)では
AC 固定金利 と押します。

AC 固定金利

月々	借入額?
ローン	0.

入力画面では、画面に“?”が表示されます。

2) 借入額を入力します。

10000000 (入力/決定)

利率%?
0.

3) 利率を入力します。

2.6 (入力/決定)

返済月数?
0.

4) 返済月数(20年=240ヵ月)を入力すると、月々の返済額が表示されます。

240 (入力/決定)

返済額(月=
53'478.

計算結果が表示されるときは、画面に“=”が表示されます。

5) 続けて (入力/決定) を押すと、返済総額、利息分が順番に表示されます。

(入力/決定)

返済総額=
12834913.

(入力/決定)

利息分=
2834913.

■金融計算のご注意

- 本機は、一般的なローン計算、複利計算、外貨預金計算に基づいて計算していますので、実務上の値(実際の受取額など)とは結果が異なる場合があります。計算結果は目安として使用していただき、実際の受取額などは金融機関でお確かめください。特にローンの残高に関する計算(“返済後残高”や“算出前残高”など)では端数の処理方法の違いにより指定した支払い回が大きくなるほどずれが大きくなる場合があります。
- 端数を処理(各処理は、操作の注意事項で記載)して結果を表示していますが、端数の計算方法や、処理は、金融機関によって異なります。詳しくは各金融機関にお尋ねください。
- 本機で採用している金融計算方式の一部を「年賦償還・繰上返済・借換で用いる計算法について」(66ページ)で紹介しています。

入力に関する注意

- 利率を入力するときは必ず年利で入力してください。
- 返済月数、預入月数を入力するときは必ず月数で

入力してください(例：返済期間が10年のときは、120と入力)。

- ボーナス併用払いを選択した場合にはボーナス返済月が一度もこないような返済月数を入力するとエラーになります。
- 金融計算では、**税込**キー(消費税込み)、**税抜**キー(消費税抜き)は使えません。

その他の注意

- 実際のローン返済や預金では借入額、返済期間、ボーナス返済の割合、預金単位などさまざまな規定があります。本機では条件外の値も入力できますのでご注意ください。(例：本機でのローン返済期間は100年(1200ヵ月)まで入力できます)
- 通常使われないような値を利率や回数として入力した場合、または入力値によっては誤差が大きくなる場合があります。
- 本機の金融計算結果は「切り捨て・切り上げ・四捨五入」のうち選択した設定(49ページ)で処理が行われて表示されます(初期設定は切り捨て)。このため本来は一致すべき値について、表示上若干のずれが生じることがあります。

例：返済額は利息部分と元金部分の合計で、次のようになります。

返済額 2001円
利息部分 1000.5円
元金部分 1000.5円

この場合、利息部分と元金部分は切り捨て表示されてともに「1000円」となり、表示上の合計と返済額が一致しません。また返済額が1000.5円、返済月数が10回の場合返済総額は「10005円」となりますが、表示上の返済額を10倍した「10000円」と一致しません。

■各種金融計算に共通の基本操作

「金融計算の例」(10ページ)をお試しの上、お読みください。

金融計算は、まず AC を押し、続けて金融計算のキー(青のキー)を押して計算の種類を選びます。

金融計算を先に進めるには 入力/決定 を押します。

- 金融計算中は、前回入力した数値が表示されます。数値をそのまま使うときは、 入力/決定 を押します。変更するときは、必要な数値を入力してから 入力/決定 を押します。

- 画面に「▶」が表示されていて、前回入力値をそのまま使う場合などは、 入力/決定 の代わりに ▶ でも先に進めます(「画面の表示について」13ページ参照)。

金融計算の入力画面中も、電卓としての演算機能(四則計算、%計算など)が行えます。

- 例：20年の月数(240ヵ月)を入力するとき、次のように押します。
12 \times 20 入力/決定 (または12 \times 20 = 入力/決定)

入力を訂正するには C または ▶ を押します。

- 数値を入力し間違えたら C を押します。続けて正しい数値を入力します。
- 画面に“E”が表示されたら C を押します。再び入力を続けることができます。
- 最後に入力した1文字だけを訂正するには ▶ を押します。続けて正しい数値を入力します。

メモ

- “E”はエラーのマークです。入力内容や計算結果が不適切なときに表示されます。“E”が表示されている間は、金融計算を先へ進めることができません。
- AC を押すと、金融計算そのものが終了します。

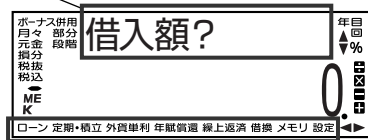
◀ ▶ の使い方

- ◀ ▶ .. 画面に「▲」「▼」が表示されているときは、◀ ▶ で他の項目を選択/表示できます。
- ◀ ▶ 画面に「▶」が表示されていて、前回入力値をそのまま使う場合などは、(入力/決定) の代わりに ▶ でも先に進めます。画面に「◀」が表示されているときは、◀ で前の手順に戻れます。
- 一連の金融計算の最後で (入力/決定) を押すと、計算の最初に戻ります。「年賦償還計算」「繰上返済」などでは、▶ を押すと、入力のある程度完了した所に戻ることができます(ショートカット機能)。最後の画面は「▶」が消えることで判断できます。

■ 画面の表示について

画面には、計算の種類/状態などが表示されます。また、金融計算には一部算出に時間がかかる場合があります。「計算中」の表示は計算に時間がかかっていることを表します。表示される用語の意味については「表示用語一覧」53ページを参照してください。

入力する内容や、計算結果の意味が表示されます。
 ? : 入力すべき項目であることを示します。
 = : 計算結果を表示していることを示します。



金融計算の種類

- ▲ ▼ 他の項目を ◀ ▶ で選べるとき
- ◀ ▶ ひとつ前の状態に ◀ で戻れるとき、ひとつ先の状態に ▶ で進めるとき (“設定” 入力中を除く)
- ボーナス併用 ... ボーナス併用払いのとき
- 月々 月々支払いのとき
- 部分 月々“部分”あるいはボーナス“部分”を表示するとき
- 元金 元金均等返済
- 段階 段階金利
- 損分 外貨預金計算の損益分岐計算
- 税抜 消費税抜き
- 税込 消費税込み

■ ローン(借りる)計算のしかた

ローンの返済額や月額などさまざまな計算をします。

元利均等の固定金利/段階金利のローン計算では、次の計算ができます。

- 借入額、利率、返済月数より、返済額、返済総額、利息分

- 返済額、利率、返済月数より、可能な借入額

固定金利で月々払いのみの場合は、次の計算もできます。

- 借入額、利率、月々の返済額から、何ヵ月で返済できるか(リボ払い)
- 借入額、返済額、返済月数より、利率

元金均等のローン計算では、次の計算ができます。

- 借入額、利率、返済月数より、返済額、返済総額、利息分
- 返済額、利率、月々の元金返済額より、返済月数、利息分

ローン計算の注意事項

- 元金均等の計算は、段階金利には対応していません。

- ボーナス回数の計算法について
ボーナスは年2回(6ヵ月ごと)としており、以下のようにボーナス回数を計算しています。

元利均等の場合

- 入力した月数÷6 小数点以下切り捨て

例：返済月数が241回の場合、ボーナス回数は40回になります。

借入日から最初のボーナス払いは6ヵ月後

元金均等の場合は借入日から最初のボーナス払いまでが6ヵ月後とは限らないため、元利均等とは異なる算出を行います。詳しくは元金均等の項(21ページ～)を参照してください。

- 実際にボーナス月に返済する額は、月々の返済額を合わせた額になります。
- 算出される利率、返済月数は小数第3位未満を「切り捨て・切り上げ・四捨五入」のうち設定(49ページ)にて選択した処理を行って表示させます(初期設定は切り捨て)。
- 極端な入力値(借入額が極大、利率が極小のときなど)のとき、誤差が大きくなることがあります。
- 「金融計算のご注意」(11ページ)も、お読みください。

メモ



- 固定金利とは、当初の金利が適用期間中変わらないものです。
- 段階金利とは、当初の期間とそれ以降の期間で適用金利が異なるものです。
- 変動金利とは、市場の金利動向にあわせて、適用金利が変動するものです。(本機では対応しておりません)

元利均等のローン計算(固定金利) 操作手順

- 1) 「月々支払い」のときは **AC** **固定金利** と押します。
「ボーナス併用払い」のときは **AC** **固定金利** **固定金利** と押します。

月々	借入額?	0.
ローン		

- 2) 借入額や利率など、画面の表示に従って入力します。
- 3) 入力が終わると、各計算結果が順番に表示されます。
- 4) 続けて **入力/決定** を押すと手順2)に戻ります。

- 「月々支払い」のときは、手順2)で   で選択すると以下の計算ができます。
返済額計算：毎月の返済額、返済総額、利息分を計算
月数計算：リボ払い
返済月数と利息分を計算
利率計算：返済可能な利率と、そのときの利息分を計算
借入額計算：返済可能な借入額と、そのときの利息分を計算
- 「ボーナス併用払い」では、返済額と借入額の計算ができます。

操作例) 月々の返済額と返済総額を計算

1000万円を年利2.6%の20年(240ヵ月)ローンで返済すると、月々の返済額と返済総額は、それぞれいくらになるか。

操 作	表 示						
1) AC 固定金利	<table border="1"><tr><td>月々</td><td>借入額?</td><td>0.</td></tr><tr><td>ローン</td><td></td><td></td></tr></table>	月々	借入額?	0.	ローン		
月々	借入額?	0.					
ローン							
2) 10000000 入力/決定	<table border="1"><tr><td>利率%?</td><td>0.</td></tr></table>	利率%?	0.				
利率%?	0.						

3) 2.6 (入力/決定)

返済月数?
0.

4) 12 20 (入力/決定)
(20年の月数を計算して入力)

返済額(月=
53478.

返済額(月= : 月々の返済額

5) 以後、(入力/決定)を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済総額=
- 利息分=

操作例 リボ払い：月々の返済額を決めて、返済月数を計算

2000万円を年利3%で借り、月々の返済額を10万円に抑えたい。返済月数は何ヵ月になるか。

操 作 表 示

1) AC 固定金利

月々 • 月数計算(元利↓
ローソ

2) (入力/決定)

借入額?
0.

3) 20000000 (入力/決定)

利率%?
0.

4) 3 (入力/決定)

返済額(月?
0.

5) 100000 (入力/決定)

返済月数=
277.605

6) 以後、(入力/決定)を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済総額=
- 利息分=

【操作例】 月々の返済額と返済月数を決めて、利率を計算

100万円を借り、月々の返済額を4万5千円以内にして、2年(24ヵ月)で返済を終えたい。利率(年利)は何%以下ならよいか。

操 作	表 示
1) <input type="button" value="AC"/> <input type="button" value="固定金利"/> <input type="button" value="v"/> <input type="button" value="v"/>	月々 ●利率計算 ローン
2) <input type="button" value="入力/決定"/>	借入額? 0.
3) 1000000 <input type="button" value="入力/決定"/>	返済月数? 0.
4) 24 <input type="button" value="入力/決定"/>	返済額(月)? 0.
5) 45000 <input type="button" value="入力/決定"/>	利率%= 7.5

6)

利息分=
80000.

【操作例】 月々の返済額と返済月数を決めて、借入額を計算

月々の返済額を96,500円とすると、年利3.5%の30年(360ヵ月)ローンでは、いくら借りられるか。

操 作	表 示
1) <input type="button" value="AC"/> <input type="button" value="固定金利"/> <input type="button" value="v"/> <input type="button" value="v"/> <input type="button" value="v"/>	月々 ●借入額計算 ローン
2) <input type="button" value="入力/決定"/>	利率%? 0.
3) 3.5 <input type="button" value="入力/決定"/>	返済月数? 0.
4) 360 <input type="button" value="入力/決定"/>	返済額(月)? 0.

5) 96500 (入力/決定)

借入額=
21'490'066.

6) (入力/決定)

利息分=
13'249'933.

操作例 元利均等のローン計算(固定金利、ボーナス併用払い)

2500万円を年利1.8%の30年(360ヵ月)ローンで借りた。そのうちボーナス返済分に700万円を割り振ると、月々の返済額/ボーナス返済額と返済総額はいくらになるか。(ボーナスは年2回。利息は支払い時に発生とする。)

操 作 表 示

1) AC 固定金利 固定金利
(ボーナス併用払いの計算)

ボーナス併用
借入額?
0.

2) 25000000 (入力/決定)
(借入額を入力)

うちボーナス額?
0.

7000000 (入力/決定)
(その中のボーナス分の額を入力)

利率%?
0.

3) 1.8 (入力/決定)

返済月数?
0.

4) 12 30 (入力/決定)
(30年の月数を計算して入力)

返済額(月=
64'745.

返済額(月=: 月々の返済額

5) 以後、(入力/決定)を押すと、以下の順番に表示されます。

- ボーナス月加算=
- 返済総額=
- 利息分=



元利均等のローン計算(段階金利) 操作手順

1) 「月々支払い」のときは AC 段階金利 と押します。

「ボーナス併用払い」のときは AC 段階金利 段階金利 と押します。

月々
段階
借入額?
0.

- 2) 借入額や利率など、画面の表示に従って入力します。
- 3) 入力が終わると、各計算結果が順番に表示されます。
- 4) 続けて **入力/決定** を押すと手順2)に戻ります。

- 手順2)で   で選択すると以下の計算ができます。

返済額計算：毎月の返済額、返済総額、利息分

借入額計算：返済可能な借入額

当初利率の期間は変更することができます。初期設定は10年になっています。(「金融計算の設定」48ページ参照)

操作例 元利均等のローン計算(段階金利、月々支払い)

2500万円を、最初の10年は年利2%、それ以降は年利3.8%の30年(360ヵ月)ローンで借りた。最初の10年までとそれ以降の月々の返済額と、返済総額はいくらになるか。

操 作 表 示

1) **AC** **段階金利**

月々
段階 借入額?

0.

ローン

2) 25000000 **入力/決定**

利率%? ~10

0.

3) 2 **入力/決定**
(10年目までの利率を入力)

利率%? 11~

0.

3.8 **入力/決定**
(11年目からの利率を入力)

返済月数?

0.

4) 360 **入力/決定**

返済額(月= ~10

92404.

返済額(月= ~10: 10年目までの月々の返済額

- 5) 以後、 **入力/決定** を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済額(月= 11~
- 返済総額=
- 利息分=

操作例 元利均等のローン計算(段階金利、ボーナス併用払い)

2500万円を、最初の10年は年利2%、それ以降は年利3.8%の30年(360ヵ月)ローンで借りた。ボーナス返済分に700万円を割り振ると、最初の10年までとそれ以降の月々の返済額/ボーナス返済額と、返済総額はいくらになるか。

操 作	表 示
1) AC 段階金利 段階金利 (ボーナス併用払いの計算)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <small>ボーナス併用 段階</small> 借入額? 0. <small>ローン</small> </div>
2) 25000000 (入力/決定) (借入額を入力)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> うちボーナス額? 0. </div>
7000000 (入力/決定) (その中のボーナス分の額を入力)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 利率%? ~10 0. </div>
3) 2 (入力/決定) (10年目までの利率を入力)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 利率%? 11~ 0. </div>

3.8 (入力/決定)

(11年目からの利率を入力)

返済月数? 0.

4) 360 (入力/決定)

返済額(月= ~10
66531.






返済額(月= ~10 : 10年目までの月々の返済額)

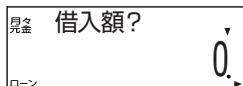
5) 以後、(入力/決定)を押すと、以下の順番に表示されます。

- ボーナス月加算= ~10
- 返済額(月= 11~
- ボーナス月加算= 11~
- 返済総額=
- 利息分=


元金均等のローン計算(固定金利) 操作手順



- 元金均等では固定金利のみ計算できます。段階金利は計算できません。

- 1) 「月々支払い」のときは   と押します。
「ボーナス併用払い」のときは    と押します。



見金 借入額? 0.
ローン

- 2) 借入額や利率など、画面の表示に従って入力します。
3) 入力が終わると、各計算結果が順番に表示されます。
4) 続けて  を押すと手順2)に戻ります。

- 「月々支払い」のときは、手順2)で   で選択すると以下の計算ができます。

返済額計算 : 毎月の返済額、返済総額、利息分

月数計算 : リボ払い。返済月数と利息分

- 「ボーナス併用払い」では、返済額のみ計算できます。
- 元金均等ローンは、毎月の返済額が異なるため、何回目の支払いが指定する必要があります。その方法として「年月指定」と「回数指定」の2通りがあり、どちらを使うかあらかじめ「設定」で選択します(「金融計算の設定」48ページ参照。初期設定は「年月指定」)。

- 「年月指定」のときは、初回支払年月と算出年月(求める年月)を入力します。
- 「回数指定」のときは、何回目の支払いか、回数を入力します。

なおボーナス分の返済に関しては以下のように計算しています。

- ボーナス回数の計算法について元金均等の場合
- 入力した月数の中にボーナス返済月(「設定」で変更可能。初期設定は1月—7月)が何回含まれるかをボーナス回数としています。

返済月数が7回の場合の例

例1 初回支払い年月が「2006年1月」なら最終月の「2006年7月」までにボーナス返済月が1月と7月の2回含まれますのでボーナス回数は2回になります。

例2 初回支払い年月が「2006年2月」では最終月の8月までにボーナス支払い月が7月の1回しか含まれませんのでボーナス回数は1回になります。

また「回数指定」のときには「年月指定」のときと同様に計算ができるよう、入力項目に「初回ボーナスまで」が加わっています。前頁の例1のように初回が「2006年1月」、つまり1回目がボーナス月のときは「初回ボーナスまで」に1を、また例2のように初回が「2006年2月」、つまり初回を1と数えて6回目の7月が最初のボーナス回のときは「初回ボーナスまで」に6を入力することで「年月指定」のときと同じ結果を得ることができます。

- ボーナスイ分初の初回の返済額の計算法について
元金均等の場合
 - ボーナスイ分初の返済は本来は6ヵ月おきですが、初回のときは借入してから1～6ヵ月のいずれかになり、期間が短いときは支払いのうち利息分が減少します。例えば初回のボーナスまでが3ヵ月のとき初回の支払いでの利息部分は6ヵ月のときの半分となります。

操作例 元金均等のローン計算(固定金利、月々支払い)

1500万円を年利1.5%で借り、20年(240ヵ月)の元金均等返済で返済すると、初回支払日が2004年4月の場合、2006年3月の返済額と返済総額、利息分はいくらになるか。

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示
1) AC 元金均等 固定金利	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 借入額? <small>見込</small> 0. <small>ローン</small> </div>
2) 15000000 入力/決定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 利率%? 0. </div>
3) 1.5 入力/決定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 返済月数? 0. </div>
4) 240 入力/決定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 初回支払年月? 200501. </div>
5) 200404 入力/決定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 算出年月? 200501. </div>
6) 200603 入力/決定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 返済額(月= 79453. </div>

返済額(月= : 月々の返済額

7) 以後、(入力/決定)を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済総額=
- 利息分=

操作例 元金均等のローン計算(固定金利、ボーナス併用払い)

1500万円を年利1.5%で借り、20年(240ヵ月)の元金均等返済で返済する。ボーナス返済に800万円を割り当てた場合、24回目の支払い時の返済額と返済総額、利息分はいくらになるか。

何回目の支払いか、回数を指定して計算する

- あらかじめ、返済時期の指定方法を「回数」に設定してください(「金融計算の設定」48ページ参照)。

操 作 表 示

1) <input type="radio"/> AC <input type="radio"/> 元金均等 固定金利 <input type="radio"/> 元金均等 固定金利	ボーナス併用 元金	借入額?	0.
2) 15000000 (入力/決定)	ローン	うちボーナス額?	0.

8000000 (入力/決定)
(その中のボーナス分の額を
入力)

3) 1.5 (入力/決定)

4) 240 (入力/決定)

5) 24 (入力/決定)

6) 4 (入力/決定)

(初回支払いが4月、最初の
ボーナスが7月にくるとき
など)

7) 以後、(入力/決定)を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済総額=
- 利息分=

利率%?
0.

返済月数?
0.

何回目支払い?
0.

初回ボーナスまで?
6.

返済額(月=
37078.

返済額(月=: 月々の返済額)

■年賦償還計算のしかた

年賦償還計算では、ローン返済時に金融機関などから発行される「償還表」(返済の明細表)に相当する計算をします。

年賦償還の計算では、次の計算ができます。

月々返済額、利息部分、元金部分、返済後残高、返済総額

年賦償還計算の注意事項

- 「金融計算のご注意」(11ページ)および「年賦償還・繰上返済・借換で用いる計算法について」(66ページ)を、お読みください。

初回支払い日に端日数がある場合

一般にローン計算のシミュレーションでは、ローンの借入日から初回の支払い日までの期間をちょうど1ヵ月と仮定していますが、実際には1ヵ月に満たない、あるいは1ヵ月をこえるなどの端日数分を考慮する必要があります。

本機は端日数を設定することにより、この部分を日割り単利で計算できます(「年賦償還計算」「借換計算」が対応しています)。端日数の設定については「金融計算の設定」48ページを参照してください。

年賦償還計算 操作手順

- 1) 「月々支払い」のときは **AC** **年賦償還** と押します。
「ボーナス併用払い」のときは **AC** **年賦償還** **年賦償還** と押します。

月々 固定→1 段階→2
1.
年賦償還

- 2) 「固定金利」のときは **1** **入力/決定**、「段階金利」のときは **2** **入力/決定** と押します。

月々 借入残高?
0.
年賦償還

- 3) 借入残高や利率など、画面の表示に従って入力します。
- 4) 最後に算出年月(回数指定の場合は何回目の支払いか)を入力して **入力/決定** を押すと、各計算結果が順番に表示されます。
- 5) 続けて **入力/決定** を押すと手順2)に戻ります。
または **▷** を押すと手順4)の算出年月(回数指定の場合は何回目の支払いか)の入力に戻ります。

- 求める時期の指定は、「年月指定」と「回数指定」ができません。どちらかを使うかあらかじめ「設定」で選択します（「金融計算の設定」48ページ参照）。

- 「年月指定」のときは、初回支払年月と算出年月（求める年月）を入力します。

- 「回数指定」のときは、何回目の支払いか、回数を入力します。

なお「ボーナス併用払い」でのボーナス回数および初回支払いのときの利息部分は、元金均等のローン計算と同様に計算しています（21ページを参照してください）。

（操作例）年賦償還（固定金利、月々支払い）

2004年4月に、年利2.5%の固定金利で3000万円を20年ローンで借りた。元利均等返済の場合、2006年3月の月々の返済額、利息分、元金分、返済後残高はいくらか。

支払いの年月を指定して計算する

- あらかじめ、返済時期の指定方法を「年月」に設定してください（「金融計算の設定」48ページ参照）。

操 作	表 示
1) <input type="checkbox"/> AC <input type="checkbox"/> 年賦償還	月々 固定→1 段階→2 年賦償還 1.
2) 1 <input type="checkbox"/> (入力/決定) (固定金利を選択)	借入残高? 0.
3) 30000000 <input type="checkbox"/> (入力/決定)	利率%? 0.
4) 2.5 <input type="checkbox"/> (入力/決定)	返済月数? 0.
5) 240 <input type="checkbox"/> (入力/決定)	初回支払年月? 2005'01
6) 200404 <input type="checkbox"/> (入力/決定)	算出年月? 2005'01
7) 200603 <input type="checkbox"/> (入力/決定)	返済額(月= 158'970.

8) (入力/決定)

利息部分=
57769.

9) (入力/決定)

元金部分=
101200.

10) (入力/決定)

返済後残高=
27628371.

11) (入力/決定)

返済総額=
38153008.

何回目の支払いか、回数を指定して計算する

- あらかじめ、返済時期の指定方法を「回数」に設定してください(「金融計算の設定」48ページ参照)。

「支払いの年月を指定して計算する」と同様に操作をします。

手順6)、手順7)の代わりに、何回目の支払いか、回数を入力してください。

(操作例) 年賦償還(固定金利、ボーナス併用払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示
1) (AC) (年賦償還) (年賦償還) (ボーナス併用払いの計算)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <small>ボーナス併用</small> 固定→1 段階→2 <div style="text-align: right; font-size: 2em;">1.</div> <small>年賦償還</small> </div>
2) 1 (入力/決定) (固定金利を選択)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 借入残高? <div style="text-align: right; font-size: 2em;">0.</div> </div>
3) 30000000 (入力/決定) (借入残高を入力)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> うちボーナス額? <div style="text-align: right; font-size: 2em;">0.</div> </div>
10000000 (入力/決定) (その中のボーナス分の額を入力)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 利率%? <div style="text-align: right; font-size: 2em;">0.</div> </div>

以後は「操作例 年賦償還(固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(25ページ)の手順4)からと同様に操作をします。

手順7)で算出年月を入力し、**入力/決定**を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済額(月=
- 利息部分=
- 元金部分=
- 返済後残高=
- 返済総額=

操作例 年賦償還(段階金利、ボーナス併用払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作 表 示

- 1) **AC** **年賦償還** **年賦償還**
(ボーナス併用払いの計算)

ボーナス併用	固定→1	段階→2
1.		
<small>年賦償還</small>		

- 2) **2** **入力/決定**
(段階金利を選択)

借入残高?
0.

- 3) **30000000** **入力/決定**
(借入残高を入力)

うちボーナス額?
0.

10000000 **入力/決定**
(その中のボーナス分の額を入力)

利率%?	~10
0.	

- 4) **3.5** **入力/決定**
(10年目までの利率を入力)

利率%?	11~
0.	

4 **入力/決定**
(11年目からの利率を入力)

返済回数?
0.

以後は「操作例 年賦償還(固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(25ページ)の手順5)からと同様に操作をします。

手順7)で算出年月を入力し、**入力/決定**を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済額(月=
- 利息部分=
- 元金部分=
- 返済後残高=
- 返済総額=

■ 繰上返済・借換計算のしかた

繰上返済とは、返済の途中で一部(または全額)をまとめて返済することです。繰上返済すると、返済期間を短くしたり(期間短縮型)、月々またはボーナス払い分の返済額を下げるができます(金額軽減型)。また、それにより支払う利息も少なくすることができます。

繰上返済の計算では、次の計算ができます。

期間短縮: 切りの良い回数分の繰上返済額およびそのときの利息軽減額、繰上後残高

金額軽減: 月々またはボーナス払い分の繰上返済後の返済額/返済1回あたりの軽減額、全体での利息軽減額、繰上後残高

借換とは、現在のローンの残額を新しいローンで借り換えることです。

借換の計算では、次の計算ができます。

現在のローンと新しいローンの、返済総額の差
新しいローンの毎月の返済額

繰上返済・借換計算の注意事項

- 「金融計算のご注意」(11ページ)および「年賦償還・繰上返済・借換で用いる計算法について」(66ページ)を、お読みください。

- 繰上返済および借換計算のボーナス併用払いでは繰上返済(借換も“全額繰上返済”なので同様の)の時期によって最大5ヵ月分の経過利息の支払いが追加されます。詳細は「表示用語一覧」(53ページ)および「年賦償還・繰上返済・借換で用いる計算法について」(66ページ)を参照してください。
- 金額軽減型の繰上返済(ボーナス併用払い)では繰上返済額のうち月々分とボーナス分の割合によっては月々の残高に対して“返しすぎ”が発生し繰上返済後の返済額が計算上負の値となることがあります。

繰上返済計算 操作手順

- 繰上返済計算と借換計算は、下記手順6)までは同じ操作です。
- 1) 「月々支払い」のときは 繰上返済
借換 と押します。
「ボーナス併用払い」のときは 繰上返済
借換 繰上返済
借換 と押します。

月々	期間→1	金額→2
		1.
		繰上返済

- 2) 「期間短縮型」のときは①(入力/決定)、「金額軽減型」のときは②(入力/決定)と押します。

月々	固定→1 段階→2	1.
		線上返済

- 3) 「固定金利」のときは①(入力/決定)、「段階金利」のときは②(入力/決定)と押します。

- 4) 借入残高や利率など、画面の表示に従って入力します。

- 5) 画面の表示に従って計算を進めると、繰上返済と借換の選択画面が表示されます。

月々	繰上→1 借換→2	1.
		線上返済

- 6) 「繰上返済」は①(入力/決定)と押します。

月々	繰上返済額?	
	28878530.	
	線上返済	

- 7) 繰上返済額を入力します。

- 8) 画面の表示に従って入力すると、利息軽減額などが順番に表示されます。

- 9) 続けて(入力/決定)を押すと手順2)に戻ります。

または▶を押すと手順7)の繰上返済額の入力に戻ります。

- 求める時期の指定は、「年月指定」と「回数指定」ができません。どちらかを使うかあらかじめ「設定」で選択します(「金融計算の設定」48ページ参照)。
- 「年月指定」のときは、初回支払年月と算出年月(繰上返済した後の最初の返済月)を入力します。
- 「回数指定」のときは、何回目の支払いの前に繰上を行うか回数を入力します(ボーナス併用払いの場合は、初回ボーナス払いまで(21ページ参照)の月数も入力します)。

なお「ボーナス併用払い」でのボーナス回数および初回支払いのときの利息部分は、元金均等のローン計算と同様に計算しています(21ページを参照してください)。

操作例 期間短縮型の繰上返済(固定金利、月々支払い)

年利3.5%の30年(360ヵ月)のローンで2004年4月に3000万円借りた。2006年2月に150万円前後の繰上返済を行い、3月分以降の返済を先払いするとき、切りの良い繰上返済額およびそのときの利息軽減額、繰上後残高はいくらか。

支払いの年月を指定して計算する

- あらかじめ、返済時期の指定方法を「年月」に設定してください(「金融計算の設定」48ページ参照)。

操 作	表 示
1) AC <input type="checkbox"/> 繰上返済 借換	月々 期間→1 金額→2 繰上返済 1.
2) 1 <input type="checkbox"/> (入力/決定) (期間短縮型を選択)	月々 固定→1 段階→2 繰上返済 1.
3) 1 <input type="checkbox"/> (入力/決定) (固定金利を選択)	借入残高? 0.
4) 30000000 <input type="checkbox"/> (入力/決定)	利率%? 0.
5) 3.5 <input type="checkbox"/> (入力/決定)	返済回数? 0.

6) 360 (入力/決定)

初回支払年月?
2005'01

7) 200404 (入力/決定)

算出年月?
2005'01

8) 200603 (入力/決定)

算出前の残高=
28878530.

9) (入力/決定)

繰上→1 借換→2
1.

10) 1 (入力/決定)
(繰上返済を選択)



繰上返済額?
28878530.

繰上返済額の初期値として算出前の残高
(繰上返済額の上限)が表示されます。

11) 1500000 (入力/決定)
(繰上返済額を入力)

繰上返済額 28 回
1'470'654.

切りの良い回数分を繰上げするための
繰上返済額が表示されます。

12)  または  で短縮回
数を増減し、

利息軽減額=
2301321.

13)

繰上後残高=
27407876.

何回目の支払いか、回数を指定して計算する

- あらかじめ、返済時期の指定方法を「回数」に設定してください(「金融計算の設定」48ページ参照)。

「支払いの年月を指定して計算する」と同様に操作をします。

手順7)、手順8)の代わりに、何回目の支払いか、回数を入力してください。

期間短縮型の繰上返済(固定金利、ボーナス併用払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示
-----	-----

1)
(ボーナス併用払いの
計算)

ボーナス併用
期間→1 金額→2
繰上返済
1.

2) 1
(期間短縮型を選択)

ボーナス併用
固定→1 段階→2
繰上返済
1.

3) 1
(固定金利を選択)

借入残高?
0.

4) 30000000
(借入残高を入力)

うちボーナス額?
0.

10000000
(その中のボーナス分の額を
入力)

利率%?
0.

以後は「操作例 期間短縮型の繰上返済(固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(30ページ)の手順5)からと同様に操作をします。

手順12)で短縮回数を増減し、**入力/決定**を押すと、以下の順番に表示されます。

- 繰上返済額(月=
- 繰上返済額(ボ=
- 軽減総額=
- 繰上後残高=

操作例 期間短縮型の繰上返済(段階金利、ボーナス併用払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示
1) AC 繰上返済借換 繰上返済借換 (ボーナス併用払いの計算)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <small>ボーナス併用</small> 期間→1 金額→2 <div style="text-align: right; font-size: 2em;">1.</div> <small>繰上返済</small> </div>
2) 1 入力/決定 (期間短縮型を選択)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <small>ボーナス併用</small> 固定→1 段階→2 <div style="text-align: right; font-size: 2em;">1.</div> <small>繰上返済</small> </div>
3) 2 入力/決定 (段階金利を選択)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-left: auto;"> 借入残高? <div style="text-align: right; font-size: 2em;">0.</div> </div>

4) 30000000 **入力/決定**
(借入残高を入力)

うちボーナス額?

0.

10000000 **入力/決定**
(その中のボーナス分の額を入力)

利率%? ~10

0.

5) 3.5 **入力/決定**
(10年目までの利率を入力)

利率%? 11~

0.

4.0 **入力/決定**
(11年目からの利率を入力)

返済回数?

0.

以後は「操作例 期間短縮型の繰上返済(固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(30ページ)の手順6)からと同様に操作をします。

手順12)で短縮回数を増減し、**入力/決定**を押すと、以下の順番に表示されます。

- 繰上返済額(月=
- 繰上返済額(ボ=
- 軽減総額=
- 繰上後残高=

操作例 金額軽減型の繰上返済(固定金利、月々支払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示
1) AC <small>繰上返済 借換</small>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 月々 期間→1 金額→2 <div style="text-align: right;">1.</div> <small>繰上返済</small> </div>
2 入力/決定 (金額軽減型を選択)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 月々 固定→1 段階→2 <div style="text-align: right;">1.</div> <small>繰上返済</small> </div>

以後は「操作例 期間短縮型の繰上返済(固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(30ページ)の手順3)からと同様に操作をします。

手順11)で繰上返済額を入力し、**入力/決定**を押すと、以下の順番に表示されます。

- 返済額(月=
- 月払軽減額=
- 利息軽減額=
- 繰上後残高=

操作例 金額軽減型の繰上返済(固定金利、ボーナス併用払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示
1) AC <small>繰上返済 借換</small> <small>繰上返済 借換</small>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ボーナス併用 期間→1 金額→2 <div style="text-align: right;">1.</div> <small>繰上返済</small> </div>
2) 2 入力/決定 (金額軽減型を選択)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ボーナス併用 固定→1 段階→2 <div style="text-align: right;">1.</div> <small>繰上返済</small> </div>
3) 1 入力/決定 (固定金利を選択)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 借入残高? <div style="text-align: right;">0.</div> </div>
4) 30000000 入力/決定 (借入残高を入力)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> うちボーナス額? <div style="text-align: right;">0.</div> </div>
10000000 入力/決定 (その中のボーナス分の額を入力)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 利率%? <div style="text-align: right;">0.</div> </div>

以後は「操作例 期間短縮型の繰上返済(固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(30ページ)の手順5)からと同様に操作をします。

手順11)で繰上返済額とその中のボーナス分の額を入力すると、以下の順番に表示されます。

- 返済額(月=
- 月払軽減額=
- ボーナス月加算=
- ボーナス分軽減=
- 軽減総額=
- 繰上後残高=

操作例 金額軽減型の繰上返済(段階金利、ボーナス併用払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作 表 示

- 1) **AC** **繰上返済借換** **繰上返済借換**
(ボーナス併用払いの計算)

ボーナス併用	期間→1	金額→2
		1.
		繰上返済

- 2) **2** **(入力/決定)**
(金額軽減型を選択)

ボーナス併用	固定→1	段階→2
		1.
		繰上返済

- 3) **2** **(入力/決定)**
(段階金利を選択)

借入残高?
0.

- 4) **30000000** **(入力/決定)**
(借入残高を入力)

うちボーナス額?
0.

- 10000000** **(入力/決定)**
(その中のボーナス分の額を入力)

利率%?	~10
	0.

- 5) **3.5** **(入力/決定)**
(10年目までの利率を入力)

利率%?	11~
	0.

- 4.0** **(入力/決定)**
(11年目からの利率を入力)

返済回数?
0.

以後は「操作例 期間短縮型の繰上返済(固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(30ページ)の手順6)からと同様に操作をします。




手順11)で繰上返済額とその中のボーナス分の額を入力すると、以下の順番に表示されます。

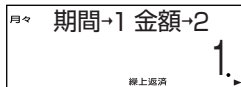
- 返済額(月= ~10
- 月払軽減額= ~10
- ボーナス月加算= ~10
- ボーナス分軽減= ~10
- 返済額(月= 11~
- 月払軽減額= 11~

- ボーナス月加算= 11~
- ボーナス分軽減= 11~
- 軽減総額=
- 繰上後残高=

借換計算 操作手順

- 繰上返済計算と借換計算は、下記手順6)までは同じ操作です。

- 1) まず借換前のローンについて入力します。借換前のローンが「月々支払い」のときは **AC**  と押します。「ボーナス併用払い」のときは **AC**   と押しします。



- 2) 「期間短縮型」と「金額軽減型」は借換計算には関係しません。どちらを選択しても同じです。

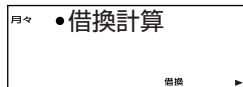



- 3) 「固定金利」のときは **1** 、「段階金利」のときは **2**  と押しします。

- 4) 借入残高や利率など、画面の表示に従って入力します。
- 5) 画面の表示に従って計算を進めると、繰上返済と借換の選択画面が表示されます。



- 6) 「借換」は **2**  と押しします。



- 7) 続けて  を押し、画面の表示に従って計算を進めると、新旧のローンの比較のために旧ローンの内容の一部をメモリ*に登録(既に登録データがあるときは上書き)して良いか、確認のための画面が表示されます。



*この操作では、差メモリに“前)残返総額”、Aメモリに借換諸経費(ボーナス払いにより経過利息のある場合は入力した借換諸経費と経過利息分の合計)が上書きされます。もともとメモリに入っているデータを上書きしたくない場合は1以外の任意の数を入れてください。

- 8) 続けて①(入力/決定)と押し、“新規ローン”のメッセージが出た状態で約2秒経過すると新しいローンの入力画面に移ります。

月々→1 ボーナス→2 借換 1.

- 9) 画面の表示に従って入力すると、月々の返済額や借換による返済差額などが順番に表示されます。

- 10) 続けて(入力/決定)を押すと手順8)の新しいローンの計算に戻ります。

- 求める時期の指定は、「年月指定」と「回数指定」ができません。どちらかを使うかあらかじめ「設定」で選択します(「金融計算の設定」48ページ参照)。
- 「年月指定」のときは、初回支払年月と算出年月(新規ローンの初回支払い年月。旧ローンの全額返済はその前月に実施)を入力します。
- 「回数指定」のときは、何回目の支払いの前に借換を行うか回数を入力します(ボーナス併用払いの場合は、初回ボーナスまで(22ページ参照)の月数も入力します)。

なお新ローン、旧ローンともに「ボーナス併用払い」でのボーナス回数は元金均等のローン計算と同様に計算しています(21ページを参照してください)。

- (操作例) 借換(固定金利、月々支払い → 固定金利、月々支払い)

年利3.5%の30年(360ヵ月)のローンで2004年4月に3000万円借りた。2006年3月に借換して新しいローンにする場合、月々の返済額や、返済の差額はいくらか。

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示						
1) AC <input type="checkbox"/> 線上返済 借換	<table border="1"> <tr> <td>月々</td> <td>期間→1 金額→2</td> <td>1.</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">線上返済</td> </tr> </table>	月々	期間→1 金額→2	1.	線上返済		
月々	期間→1 金額→2	1.					
線上返済							
2) 1 (入力/決定) (どちらを選択しても同じです)	<table border="1"> <tr> <td>月々</td> <td>固定→1 段階→2</td> <td>1.</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">線上返済</td> </tr> </table>	月々	固定→1 段階→2	1.	線上返済		
月々	固定→1 段階→2	1.					
線上返済							
3) 1 (入力/決定) (固定金利を選択)	<table border="1"> <tr> <td>借入残高?</td> <td>0.</td> </tr> </table>	借入残高?	0.				
借入残高?	0.						
4) 30000000 (入力/決定)	<table border="1"> <tr> <td>利率%?</td> <td>0.</td> </tr> </table>	利率%?	0.				
利率%?	0.						

5) 3.5 (入力/決定)

返済回数?
0.

6) 360 (入力/決定)

初回支払年月?
2005'01

7) 200404 (入力/決定)

算出年月?
2005'01

8) 200603 (入力/決定)

算出前の残高=
288'78530.

9) (入力/決定)

繰上→1 借換→2
1.

10) 2 (入力/決定)
(借換を選択)

•借換計算

11) (入力/決定)

借換諸経費?
0.

12) 645285 (入力/決定)
(諸経費を入力)

前)残返総額=
45398'417.

前)残返総額=: 前回のローンでの返済を続けたとき
今後支払う必要があった総額

13) (入力/決定)

刈り上書き可→1
1.

14) 1 (入力/決定)
(“新規ローン”約2秒表示)

月々→1 ボーナス→2
1.

15) 1 (入力/決定)
(月々支払いを選択)

固定→1 段階→2
1.

16) 1 (入力/決定)
(固定金利を選択)

借入額?
288'78530.

表示されている金額は前回のローンの借入残高です。

17) (入力/決定)
(残高すべてをそのまま入力)

利率%?
35

18) 2.5 (入力/決定)

返済月数?
0.

19) 240 (入力/決定)

返済額(月=
153'028.

20) (入力/決定)

返済総額=
367'267'59.

21) (入力/決定)

前)残返総額=
453'984'17.

前)残返総額=：前回のローンでの返済を続けたとき
今後支払う必要があった総額

22) (入力/決定)

返済差額=
867'1658.

23) (入力/決定)

差額(諸経費込)=
802'6373.

差額(諸経費込)：借換による差額(諸経費込み)

メモ

差額が負の値になった場合は、前回のローンより新しいローンの返済総額の方が多くなります。 - 38 -

何回目の支払いか、回数を指定して計算する

- あらかじめ、返済時期の指定方法を「回数」に設定してください(「金融計算の設定」48ページ参照)。

「支払いの年月を指定して計算する」と同様に操作をします。

手順7)、手順8)の代わりに、何回目の支払い前に借換を実施するか、回数を入力してください。

操作例 借換(段階金利、ボーナス併用払い → 固定金利、月々支払い)

支払いの年月を指定して計算する

操 作	表 示
1) <input type="checkbox"/> AC <input type="checkbox"/> 線上返済借換 <input type="checkbox"/> 線上返済借換 (ボーナス併用払いの計算)	ボーナス併用 期間→1 金額→2 線上返済 1.
2) 1 (入力/決定) (どちらを選択しても同じです)	ボーナス併用 固定→1 段階→2 線上返済 1.

- 3) 2 (入力/決定)
(段階金利を選択)

借入残高?
0.

- 4) 30000000 (入力/決定)
(借入残高を入力)

うちボーナス額?
0.

- 10000000 (入力/決定)
(その中のボーナス分の額を入力)

利率%? ~10
0.

- 5) 3.5 (入力/決定)
(10年目までの利率を入力)

利率%? 11~
0.

- 4 (入力/決定)
(11年目からの利率を入力)

返済回数?
0.

以後は「操作例 借換(固定金利、月々支払い → 固定金利、月々支払い)」の「支払いの年月を指定して計算する」(36ページ)の手順6)からと同様に操作をします。

■ 預金(貯める)計算のしかた

定期預金/積立預金による受取額や、外貨預金の損益などを計算します。

定期預金の計算では、次の計算ができます。

- 預金額、利率、預入月数より、受取額、利息
 - 受取額、利率、預入月数より、預金額、利息
- 積立預金の計算では、次の計算ができます。

- 月々の積立額、利率、預入月数より、受取額、利息
- 受取額、利率、預入月数より、月々の積立額、利息

外貨預金の計算では、次の計算ができます。

- 預金額、利率、預入月数、TTS/TTB(レート)より、受取額、損益
- 預金額、利率、預入月数、TTSより、損益分岐するTTB

預金計算の注意事項

- 複利計算は、一年複利、半年複利、一月複利を切り替えることができます(「金融計算の設定」48ページ参照)。

- 源泉分離課税率を0に設定すると、源泉分離課税を考慮しない計算を行うことができます(「金融計算の設定」48ページ参照)。
- 利息に発生する源泉分離課税以外の税金は計算時に考慮されません。
- 預入月数が複利計算の条件外の数字も入力し計算することができますのでご注意ください(算出される計算結果は参考値となることをご了承ください)。
- 源泉分離課税は、利息発生時に課税されるものと満期時に課税されるものがありますが、本機では満期時に課税されるように計算しています。
- 「金融計算のご注意」(11ページ)も、お読みください。

外貨預金の注意事項

- 外貨記号は、米ドル(\$)とユーロ(€)とポンド(£)を切り替えることができます(「金融計算の設定」48ページ参照)。
- 算出されるTTBおよび外貨での預金額・受取額は小数第2位未満を「切り捨て・切り上げ・四捨五入」のうち設定(49ページ参照)で選択した処理を行って表示させます(初期設定は切り捨て)。

メモ 定期預金/積立預金

- 定期預金とは、あらかじめ定めた支払い期日まで払い戻しをしないことを約束した預金です。
- 積立預金とは、毎月一定額を積み立てる預金です。
- 複利とは、一定期間ごとに利息を元金に組み入れ、その元利合計に対して利息が計算されるものです。
- 源泉分離課税とは、利子所得に対して発生する課税です。

メモ 外貨預金



- 外貨預金とは、日本円を外国通貨に交換して預ける外貨建て預金のことです。
- TTS(電信売相場)とは、円を外貨に換える場合に適用するレートです。
- TTB(電信買相場)とは、外貨を円に換える場合に適用するレートです。

定期預金の計算 操作手順

- 1) **AC** **定期預金** と押します。

預金額? 0. <small>定期・積立</small>

- 2) 預金額や利率など、画面の表示に従って入力します。
 3) 入力が終わると、各計算結果が順番に表示されます。
 4) 続けて **入力/決定** を押すと手順2)に戻ります。

- 手順2)で   で選択すると以下の計算ができます。

受取額計算：受取額と利息

預金額計算：必要な預金額と利息

操作例 受取額と利息の計算

100万円を年利1.5%(半年複利)の定期預金に3年(36ヵ月)預けたときの、受取額と利息はいくらか。
 (源泉分離課税の税率は、20%とする)

操 作	表 示
-----	-----

- 1) **AC** **定期預金**

預金額? 0. <small>定期・積立</small>

- 2) 1000000 **入力/決定**

利率%? 0.

- 3) 1.5 **入力/決定**

預入月数? 0.

- 4) 36 **入力/決定**

受取額= 1'036'681.

- 5) **入力/決定**

利息= 36'681.

操作例 受取額に必要な預金額の計算

年利1.5%(半年複利)の定期預金で3年(36ヵ月)後に50万円受け取るには、預金額はいくらか。
 (源泉分離課税の税率は、20%とする)

操 作	表 示
-----	-----

- 1) **AC** **定期預金** 

• 預金額計算 ▲
<small>定期・積立</small>

2)

受取額?
0.

3) 500000

利率%?
0.

4) 1.5

預入月数?
0.

5) 36

預金額=
482'308.

6)

利息=
17'691.

積立預金の計算 操作手順

1) と押し
ます。

月々積立額?
0.
定期・積立

- 2) 積立額や利率など、画面の表示に従って入力します。
- 3) 入力が終わると、各計算結果が順番に表示されます。
- 4) 続けて を押すと手順2)に戻ります。

• 手順2)で で選択すると以下の計算ができます。

受取額計算：受取額と利息

積立額計算：必要な積立額と利息

受取額と利息の計算

毎月10,000円ずつ、年利1.5%(半年複利)で3年間
積み立てたときの、受取額と利息はいくらか。

(源泉分離課税の税率は、20%とする)

操 作	表 示
-----	-----

1)

月々積立額?
0.
定期・積立

2) 10000

利率%?
0.

3) 1.5 (入力/決定)

預入月数?
0.

4) 36 (入力/決定)

受取額=
366'736.

5) (入力/決定)

利息=
6'736.

操作例 受取額に必要な積立額の計算

年利1.5%(半年複利)の積立預金で3年(36ヵ月)後に50万円受け取るには、積立額は月々いくらか。(源泉分離課税の税率は、20%とする)

操 作 表 示

1) AC 定期預金 定期預金 

●積立額計算 ▲
定期・積立 ▶

2) (入力/決定)

受取額?
0.

3) 500000 (入力/決定)

利率%?
0.

4) 1.5 (入力/決定)

預入月数?
0.

5) 36 (入力/決定)

月々積立額=
13633.

6) (入力/決定)

利息=
9'184.

外貨預金の損益の計算 操作手順

1) AC  と押します。

預金額? 円
0. 外貨単利

2) 預金額や利率、TTS/TTBなど、画面の表示に従って入力します。

3) 入力が終わると、各計算結果が順番に表示されます。

4) 続けて (入力/決定) を押すと手順2)に戻ります。

操作例 外貨預金の損益の計算

100万円をドル建てで、年利3%(単利)の外貨預金を3年間行う。預金時のレートが104円、受取時のレートが108円のときの、受取額と損益、利回りはいくらか。

(源泉分離課税の税率は、20%とする)

操 作	表 示
1) AC <input type="button" value="外貨預金損益"/>	預金額? 円 0. <small>外貨単利</small>
2) 1000000 <input type="button" value="入力/決定"/>	TTS? ¥→\$ 0.
3) 104 <input type="button" value="入力/決定"/>	利率%? 0.
4) 3 <input type="button" value="入力/決定"/>	預入月数? 0.
5) 36 <input type="button" value="入力/決定"/>	TTB? \$→¥ 0.

6) 108

預金額= \$
961538

預金額= \$:ドルでの預金額

7) 以後、を押すと、以下の順番に表示されます。

- 受取額= \$
- 受取額= 円
- 損益= 円

外貨預金の損益分岐の計算 操作手順

1) AC と押
します。

損分 預金額? 円
0.
外貨単利

- 2) 預金額や利率、TTS/TTBなど、画面の表示に従って入力します。
- 3) 入力が終わると、各計算結果が順番に表示されます。
- 4) 続けて を押すと手順2)に戻ります。

操作例 外貨預金の損益分岐の計算

100万円をドル建てで、年利3%(単利)の外貨預金を3年間行う。預金時のレートが104円であったとき、受取時のレートがいくらであれば損失が出ないか。

(源泉分離課税の税率は、20%とする)

操 作	表 示
1) AC <input type="button" value="外貨預金損益"/> <input type="button" value="外貨預金損益"/>	損分 預金額? 円 0. 外貨単利
2) 1000000 <input type="button" value="入力/決定"/>	TTS? ¥→\$ 0.
3) 104 <input type="button" value="入力/決定"/>	利率%? 0.
4) 3 <input type="button" value="入力/決定"/>	預入月数? 0.
5) 36 <input type="button" value="入力/決定"/>	TTB? \$→¥ 97.01

■金融計算メモリの使い方

本機は一般計算用のメモリ(MRC M+ M-)の他に、金融計算結果の数値を記憶する専用メモリが8つあります。金融計算メモリには、画面に“=”が点灯している金融計算の結果のみを登録することができます。

メモリの種類

答えメモリ

差分メモリ

A, B, C, D, E, Fの各メモリ

メモリへ登録するには

と押し、メモリの種類を キーで選択後 を押します。

画面に“=”が点灯している金融計算の結果のみ登録できます。

メモリを呼び出すには

を押し、メモリの種類を キーで選択後 を押します。

メモリ内容のうち呼び出して使えるのは数値部分のみであり、金融計算でも一般計算でも使えます。

「答えメモリ」を使うには

「答えメモリ」には、画面に“=”が点灯している金融計算の結果が自動的に登録されます。登録操作は必要ありません。(計算の途中でACなどを押して中断すると、その時点で表示されていたデータが保持されません。)

例 ローン計算を行い、返済総額が表示されている場合

操 作	表 示
1) (ローン計算の結果画面)	返済総額= 15473.
メモ (答えメモリの呼び出し)	返済総額 答 15473.

例 左記の「答えメモリ」に2万円を足す場合

操 作	表 示
1) AC メモ (入力/決定) + 20000 =	35473.

「A～Fのメモリ」を使うには

「A～Fのメモリ」には、画面に“=”が点灯している金融計算の結果のみ登録できます。**メモ** を押し、**▲** **▼** で選択し、(入力/決定)を押します。

例 返済総額を「Cメモリ」に登録する場合

操 作	表 示
1)	返済総額= 15473.
メモ メモ ▼ ▼ ▼ (Cメモリを選択)	→ C 0.

現在のCメモリの数値が表示されます(上記の例では0)。

- 2) (入力/決定)
(Cメモリへ登録)

返済総額 →|C
15473.

- (例) 上記の「Cメモリ」を呼び出して借入額に入力する場合

操 作	表 示
-----	-----

- 1) (AC) (固定金利)
- 2) (メモリ操作) (メモリ操作) (メモリ操作)
(Cメモリを選択)
- 3) (入力/決定)
(メモリの呼び出し)

借入額?
0.

返済総額 |C
15473.

借入額?
15473.

「差分メモリ」を使うには

「差分メモリ」とは、最初に「差分メモリ」に登録されている値と画面に表示されている値の差を計算します。

- (例) 返済総額を「差分メモリ」に登録する場合

操 作	表 示
-----	-----

1) 返済総額=
10000.

- (メモリ操作) (メモリ操作)
(差分メモリを選択)

→|差

- 2) (入力/決定)
(差分メモリへ登録)

返済総額 →|差
10000.

(C)キーを押すと元の結果画面に復帰し、継続して金融計算を行えます)

例) 次に計算した返済総額と上記の「差分メモリ」
との差を計算する場合

操 作	表 示
-----	-----

1) 



(差分メモリを選択)


返済総額 | 差
10000.

2) 
(差分メモリの呼び出し)

返済総額= (差)
20000.

返済総額= (差) : 「差分メモリ」の値との差

- メモリ登録時には目安として漢字のメッセージもあわせて保存されますが、メッセージの長さによってはメモリ操作の際に右端部が上書きされる場合があります。(メッセージについては「表示用語一覧」53ページを参照してください。)

(メモリ登録時の表示例) 

■ 設定のしかた

金融計算の設定

設定の注意事項

- 設定値の入力を誤ると、金融計算が正しく行えなくなりしますのでご注意ください。
- 途中で設定状態を解除すると、途中まで変更した設定はもとに戻ります。
- 将来的な制度の変更によっては、本機で対応しきれなくなる場合もあります。あらかじめご了承ください。

操 作	表 示
-----	-----

1)   と押します。



2) 数字キーや   キーを使って設定します。

3)  を押すと、次の設定項目が表示されます。

4) 「設定完了!」と表示されるまで、2~3を繰り返します。

設定項目一覧

設定できる項目は以下の通りです。

金融計算の種類	表示	選択可能値	初期値	設定内容
ローン、年賦償還、繰上返済、借換	設定期間1～	1～99	10	段階金利の当初金利の期間を年単位で設定します。
定期・積立	1 2 12回複利	1, 2, 12	2	定期預金・積立預金の年複利回数を設定します。
定期・積立 外貨単利	課税率%	0～100 (小数含む)	20	源泉分離課税率を設定します。
年賦償還、借換	端日数	0～62	0	借入日から初回の支払日までの日数を考慮した補正を行うためのものです*。0のときは補正を行いません。
ローン、年賦償還、繰上返済、借換	年月→1 回数→2	1, 2	1	返済時期の入力のしかたを設定します。 1 年月で入力する 2 回数で入力する
外貨単利	\$→1 €→2 £→3	1, 2, 3	1	外貨預金の通貨を設定します。 1 ドル 2 ユーロ 3 ポンド
全ての金融計算	捨→1 上→2 四→3	1, 2, 3	1	表示される計算結果の最下位の処理を設定します。 1 切り捨て 2 切り上げ 3 四捨五入
借換	自動→1 手動→2	1, 2	1	借換後の新規ローンの計算へ進み方を設定します。 1 自動的に進みます。 2 手動で年賦償還あるいはその他の金融計算モードを選んで進めます。
ローン、年賦償還、繰上返済、借換	ボーナス支払月	1-7～ 6-12	1-7	☞☜で支払月を「1-7, 2-8, 3-9, 4-10, 5-11, 6-12」の中から選びます。

* 端日数の入力例 (計算法については「年賦償還・繰上返済・借換で用いる計算法について」66ページを参照してください)

借入日から1ヵ月後に初回の返済日がある場合→0：
補正を行いません。

<借入日から1ヵ月以内に初回の返済日があるとき>
借入日から10日後に初回の返済日→10：
初回の利息分が1ヵ月分から10日分になり、少なくなります。

<借入日から1ヵ月後以降に初回の返済日があるとき>
借入日から1ヵ月と10日後に初回の返済日→40
(ここでは1ヵ月を30日としてください)：
初回の利息分が10日分だけ多くなります。

なお、金融機関によっては端日数を“両端入れ(借入日を日数に加える)”で取り扱っております。本機仕様は“片端入れ(借入日は日数に加えない)”対応ですので両端に合わせるには入力の際に1を加えてください。






コントラスト調節

操 作

表 示

1)  (設定) と押します。



- 金融計算の設定の画面になります。このときいずれの設定画面でも   キーでコントラストが調節できます。
- 2)   キーを使ってコントラストを調節します。
- 3)  を押し、設定を終わります。

初期化のしかた

各種設定をすべて初期化します。

- 電池の交換後は必ず初期化を行うようにしてください。

操 作	表 示
-----	-----

- 1) **入** を押し、その後 **入力/決定** を約2秒間押し続けます。



- 2) **1** **入力/決定** と押すと、初期化を行います。

- 初期化をやめるには、**AC** を押します。

一般的な計算のしかた

新たに計算を始めるときは **AC** を押します

● 計算例

$4 - 6 = -2$	$4 \text{ 〇 } 6 \text{ 〇}$	
$(1 + 2) \div 3 \times 4 - 5.5 = -1.5$	$1 \text{ 〇 } 2 \text{ 〇 } 3 \text{ 〇 } 4 \text{ 〇 } 5.5 \text{ 〇}$	
$999999999999 + 1 =$ (桁オーバーエラー)	$999999999999 \text{ 〇 } 1 \text{ 〇}$	E
	AC	
表示の小数点は1兆の単位を示します。		
$2 \times (-3) = -6$	$2 \text{ 〇 } 3 \text{ 〇 } \text{ 〇}$	
定数計算		
$12 + 23 = 35$	$23 \text{ 〇 } \text{ 〇 } 12 \text{ 〇}$	K
$45 + 23 = 68$	45 〇	K
$78 + 23 = 101$	78 〇	K
$7 - 5 = 2$	$5 \text{ 〇 } \text{ 〇 } 7 \text{ 〇}$	K
$2 - 5 = -3$	2 〇	K
$2 \times 12 = 24$	$12 \text{ 〇 } \text{ 〇 } 2 \text{ 〇}$	K
$4 \times 12 = 48$	4 〇	K
$45 \div 9 = 5$	$9 \text{ 〇 } \text{ 〇 } 45 \text{ 〇}$	K
$72 \div 9 = 8$	72 〇	K

パーセント計算

100の5% = 5
100の5%増し = 105
500の20%引き = 400
30は60の50% → 50
12は10の20%アップ → 20

利益率を売価の25%と見た場合、仕入価格(原価)120円の品物の売価と利益額は?

独立メモリ

80 × 9 = 720 (小計)
-) 50 × 6 = 300 (小計)
20 × 3 = 60 (小計)

計) 480 (合計)

*1 独立メモリをクリアします。

*2 独立メモリに数値を加えます。

*3 独立メモリから数値を引きます。

*4 独立メモリに記憶されている数値を表示します。

修正の例

× 2+3 → ○ 2+4 = 6

× 2+... → ○ 2-7 = -5

× 122 → ○ 123

100 ⊗ 5%
100 ⊗ 5% ⊕
500 ⊗ 20% ⊖
30 ÷ 60%
12 ⊖ 10%

売価 → 160 120 ⊕ 25%
利益 → 40 ⊖

MRC MRC 80 ⊗ 9 M+ *2 M
50 ⊗ 6 M- *3 M
20 ⊗ 3 M+ *2 M
MRC *4 M

消費税計算(税率5%の場合)

税込み価格105円のと看、
税抜き価格=100円、
税額=5円

税込を繰り返し押しすと、税抜き価格と税額が繰り返し表示されます。

税抜価格100円のと看、
税込み価格=105円、
税額=5円

税込を繰り返し押しすと、税込み価格と税額が繰り返し表示されます。

消費税率の確認

AC 税率 税込 税

消費税率の変更

ACを押した直後に%を約2秒間押し続けます。
現在設定されている税率が表示されるので、新しい税率を入力し%を押します。

付録

■ 表示用語一覧

本機の金融計算で表示される用語は次の通りです。金融計算の種類順に、既出の用語は省略してあります。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
元利均等・固定金利	借入額	最初に借り入れた金額	1~999999999999
	利率%	ローンの年利	0.0001~200 (0.0001刻み)
	返済月数	返済終了までに要する月数	1~1200
	返済額(月)	月々の返済額	
	返済総額	返済の総額	
	利息分	[返済総額]-[借入額]	
元利均等・固定金利・ ボーナス併用	うちボーナス額	借入額のうち、ボーナス月(半年おき)に加算して返済する部分の金額	0~999999999999*1
	ボーナス月加算	ボーナス月(半年おき)に、月々の返済額に加算して返済する金額	
	月払分借入額	月々払いで支払う分の借入額 (借入額計算で算出)	
	ボーナス分借入額	ボーナス月に加算して支払う分の借入額 (借入額計算で算出)	

*1 「うちボーナス額」が「借入額」より大きいときはエラーとなります。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
元利均等・固定金利・ボーナス併用	借入総額	[月払い借入額]+[ボーナス分借入額] (借入額計算で算出)	
元利均等・段階金利	利率%～10	10年目まで(1段階目)の年利	0.0001～200 (0.0001刻み)
	利率%11～	11年目以降(2段階目)の年利	0.0001～200 (0.0001刻み)
	返済額(月～10	10年目まで(1段階目)の月々の返済額	
	返済額(月11～	11年目以降(2段階目)の月々の返済額	
元利均等・段階金利・ボーナス併用	ボーナス月加算～10	10年目まで(1段階目)の、ボーナス月(半年おき)に月々の返済額に加算して返済する金額	
	ボーナス月加算11～	11年目以降(2段階目)の、ボーナス月(半年おき)に月々の返済額に加算して返済する金額	
元金均等・固定金利	初回支払年月	支払いを開始する年月	1901'01～2099'12*2
	算出年月	返済額を確認する年月	1901'01～2099'12
	何回目支払い	返済額を確認する支払いの回数(何回目か)	1～1200*3
	返済額(月)	指定した月(回)の返済額 (元金均等のとき、支払額は変動)	

*2 設定：「年月」時 「初回支払年月」と「算出年月」の差が「返済月数」を超える場合はエラーとなります。

*3 設定：「回数」時 「何回目支払い」が「返済月数」より大きいときはエラーとなります。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
元金均等・固定金利	返済額(月)	月々の返済額のうち、元金部分 (借入額計算で入力する場合)	1~999999999999
元金均等・固定金利・ ボーナス併用	初回ボーナスまで	最初のボーナス払いまでに要する支払いの 回数 例：初回支払年月が2005年3月で、最初 のボーナス払いがその年の7月のとき →“初回ボーナスまで”は5	1~6*4
	返済額(月+ボ)	指定した月(回)がボーナス月だったときの 返済額	
年賦償還・固定金利	固定→1 段階→2	固定金利ローン、段階金利ローンの選択	1~2
	借入残高	ローン開始時の残高(借入額と同義)	1~999999999999
	利息部分	[返済額(月)]のうち利息部分の支払額	
	元金部分	[返済額(月)]のうち元金部分の支払額	
	返済後残高	指定した月(回)の返済後の残高	
年賦償還・段階金利	初出の項目なし		
年賦償還・ボーナス 併用・固定金利	初出の項目なし		
年賦償還・ボーナス 併用・段階金利	初出の項目なし		

*4 設定：「回数」時 「初回ボーナスまで」で指定した数値が「返済月数」より大きいときはエラーとなります。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
繰上返済・期間軽減・ 固定金利	期間→1 金額→2	繰上返済の期間短縮型、金額軽減型の選択	1～2
	返済回数	返済終了までに要する月数	1～1200
	算出年月	繰上返済を行った後の最初の支払いの年月 ※ 繰上返済に充てる金額を“実際に返済する月”ではないのでご注意ください。 例：算出年月が2015年1月 前月の2014年12月に普通の返済を行い、同時に2015年1月分以降の返済分に対して繰上返済を実施	1901'01～2099'12 *2
	何回目支払い	繰上返済を行った後の最初の支払いの回数(何回目か) 例：何回目支払い?が100回 99回目の普通の返済を行い、同時に100回目以降の返済分に対して繰上返済を実施	1～1200 *3
	算出前の残高	繰上返済を行う直前の残高 例：算出年月が2015年1月 2014年12月の返済後の残高	
繰上→1 借換→2	繰上返済か借り換えの選択	1～2	

*2 設定：「年月」時 「初回支払年月」と「算出年月」の差が「返済月数」を超える場合はエラーとなります。

*3 設定：「回数」時 「何回目支払い」が「返済月数」より大きいときはエラーとなります。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
繰上返済・期間軽減・ 固定金利	繰上返済額	繰上返済に充てる金額	1~99999999999999*5
	繰上返済額 ○回	切りのよい回数分を繰上げするための繰上返済額(○回：短縮される返済回数)	
	利息軽減額	繰上返済によって軽減される利息の合計	
	繰上後残高	繰上返済後の残高	
繰上返済・期間軽減・ 固定金利・ ボーナス併用	繰上返済額(月)	繰上返済のときに払う額のうち月払い分	
	繰上返済額(ボ)	繰上返済のときに払う額のうちボーナス払い分	
	軽減総額	繰上返済によって軽減される利息の合計 (月払い分+ボーナス払い分)	
繰上返済・期間軽減・ 段階金利	初出の項目なし		
繰上返済・期間軽減・ 段階金利・ ボーナス併用	初出の項目なし		
繰上返済・金額軽減・ 固定金利	返済額(月)	繰上返済後の月々の返済額	
	月払軽減額	繰上返済による月々の返済1回あたりの軽減額	
	利息軽減額	繰上返済によって軽減される利息の合計	

*5 「算出前残高」より大きいときはエラーとなります。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
繰上返済・金額軽減・ 段階金利	返済額(月～10	繰上返済後の10年目まで(1段階目)の月々の返済額 ※ 繰上返済後の返済が10年目までの中 ないときには、もともとの10年目まで の月々返済額を表示	
	月払軽減額～10	繰上返済による10年目まで(1段階目)の 月々の返済1回あたりの軽減額 ※ 繰上返済後の返済が10年目までの中 ないときには0を表示	
	返済額(月11～	繰上返済後の11年目以降(2段階目)の月々 返済額	
	月払軽減額11～	繰上返済による11年目以降(2段階目)の 月々の返済1回あたりの軽減額	
繰上返済・金額軽減・ 固定金利・ ボーナス併用	繰)うちボーナス額	繰上返済に充てる金額のうち、ボーナス払 い分	1～999999999999 ^{*6}
	ボーナス月加算	繰上返済後のボーナス払い分の返済額 ※ 繰上返済後のボーナス払い分の返済がな いときには、もともとのボーナス分返済 額を表示	

*6 「繰上返済額」より大きいときはエラーとなります。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
繰上返済・金額軽減・ 固定金利・ ボーナス併用	ボーナス分軽減	繰上返済によるボーナス払い分の返済1回あたりの軽減額 ※繰上返済後のボーナス払い分の返済がないときには0を表示	
	軽減総額	繰上返済によって軽減される利息の合計(月払い分+ボーナス払い分)	
繰上返済・金額軽減・ 段階金利	返済額(月～10)	繰上返済後の10年目まで(1段階目)の月々の返済額 ※繰上返済後の返済が10年目までの中 ないときには、もともとの10年目ま での月々返済額を表示	
	月払軽減額～10	繰上返済による10年目まで(1段階目)の月々の返済1回あたりの軽減額 ※繰上返済後の返済が10年目までの中 ないときには0を表示	
	返済額(月11～)	繰上返済後の11年目以降(2段階目)の月々返済額	
	月払軽減額11～	繰上返済による11年目以降(2段階目)の月々の返済1回あたりの軽減額	

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
繰上返済・金額軽減・ 段階金利・ ボーナス併用	ボーナス月加算～10	繰上返済後の10年目まで(1段階目)のボーナス払い分の返済額 ※ 繰上返済後のボーナス払い分の返済が10年目までの中にあるときには、もとの10年目までのボーナス分返済額を表示	
	ボーナス分軽減～10	繰上返済による10年目まで(1段階目)のボーナス払い分の返済1回あたりの軽減額 ※ 繰上返済後のボーナス払い分の返済が10年目までの中にあるときには0を表示	
	ボーナス月加算11～	繰上返済後の11年目以降(2段階目)のボーナス払い分の返済額 ※ 繰上返済後のボーナス払い分の返済がないときには、もとの11年目以降のボーナス分返済額を表示	
	ボーナス分軽減11～	繰上返済による11年目以降(2段階目)のボーナス払い分の返済1回あたりの軽減額 ※ 繰上返済後のボーナス払い分の返済がないときには0を表示	

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
借換・固定金利	借換諸経費	借換の手続きを行う中で必要となる経費 ※ 一般に印紙代・登記費用・保証料・手数料など合計で数十万円の負担	1~999999999999
	前)残返総額	借換前のローンでの返済をそのまま続けた時に、残りの返済で支払うはずだった金額の合計 例：算出年月が2015年1月 借換前のローンで2015年1月から最終回までに払うはずだった合計の金額	
	メモリ上書き可→1	1を入力すると差メモリに[前)残返総額]を、Aメモリに[借換諸経費]を登録 ※ 1以外の入力の際はメモリへの登録を行いませんが、以降の新規ローンの計算は全く同様に行われます。	なし

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
借換・固定金利・ ボーナス併用	経過利息	<p>ボーナス払い分の借換を行う際の、直前の支払いから借換(一括返済)までの期間にボーナス払い分の一括返済額に対してかかる利息のこと*7</p> <p>※ ボーナス併用払いの繰上返済の場合にも同様に経過利息が発生し、経過利息の分だけ軽減総額が少なくなります。</p> <p>例：</p> <p>経過利息がつかない例：算出年月 2015年1月、ボーナス支払月が6 - 12月(“設定”で選択)</p> <p>この場合は借換前の最後のボーナスが2014年12月となり、借換(一括返済)と同時となるため経過利息は0円です。</p> <p>経過利息がつく例：算出年月 2015年1月、ボーナス支払月が1 - 7月(“設定”で選択)</p> <p>この場合は借換前の最後のボーナスが2014年7月となり、借換(一括返済)時期の2014年12月まで5ヵ月あるので5ヵ月分の利息が別に必要となります。</p>	

*7 計算法については「年賦償還・繰上返済・借換で用いる計算法について」66ページを参照してください。

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
借換・固定金利・ ボーナス併用	メモリ上書き可→1	1を入力すると差メモリに[前]残返総額を、Aメモリに[借換諸経費]を登録 ※ ボーナス併用のときの[借換諸経費]は、ユーザー入力値と[経過利息]の合計となります。	なし
借換・段階金利	初出の項目なし		
借換・段階金利・ ボーナス併用	初出の項目なし		
新規ローン・月々・ 固定金利	月々→1 ボーナス→2	新規のローンが月々払いのみか、ボーナス併用かを選択	1～2
	返済差額	借換前のローンの[前]残返総額と新規ローンの[返済総額]との差 ※ 新規ローンの返済総額の方が少ない時に正の値となります	
	差額(諸経費込)	[返済差額] - [借換諸経費]	
新規ローン・固定金利・ ボーナス併用	初出の項目なし	※ [借換諸経費]は、ユーザー入力値と[経過利息]の合計となります。	
新規ローン・月々・ 段階金利	初出の項目なし		
新規ローン・段階金利・ ボーナス併用	初出の項目なし		

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
定期預金	預金額	定期預金への預金額	1~999999999999
	利率%	預金の年利(複利)	0.00001~200 (0.00001刻み)
	預入月数	定期預金の継続月数(預け入れ月数)	1~1200
	受取額	定期満期(預入月数)後の受け取り額 ※ 源泉分離課税分を引いた値となります。	
	利息	[受取額]-[預金額]	
積立預金	月々積立額?	月々の積み立て額	1~999999999999
	利率%?	預金の年利(複利)	0.00001~200 (0.00001刻み)
	預入月数	積み立てを続ける月数(預け入れ月数)	1~1200
	受取額	積み立て終了後に受け取る金額 ※ 源泉分離課税分を引いた値となります。	
外貨預金	預金額 円	日本円による預金額	1~999999999999
	T T S ¥→\$	銀行の外貨売価 TTS(Telegraphic Transfer Selling rate)	1~999999999999
	利率%	預金の年利(単利)	0.00001~200 (0.00001刻み)
	預入月数	外貨預金の継続月数(預け入れ月数)	1~1200

金融計算の種類	メッセージ	説明	入力可能範囲
外貨預金	TTB \$→¥	銀行の外貨買価 TTB(Telegraphic Transfer Buying rate)	1~999999999999
	預金額 \$	[預金額]と[TTS]から換算した外貨での預金額	
	受取額 \$	入力値から求められる外貨での受取額 ※ 源泉分離課税分を引いた値となります。	
	受取額 円	円換算した受取額	
	損益 円	[受取額=円]-[預金額]	

■年賦償還・繰上返済・借換で用いる計算法について

本機で計算できる償還・繰上返済・借換に関する各計算法は各金融機関ごとに特に違いが大きい部分です。本機では以下の計算を行っていますのでご注意ください。

本ページの利率は入力値の[利率]を100で割った値を用いてください。

- 端日数 []内は設定した値です。
 - 端日数が[0]の場合(借入日と初回返済日がちょうど1カ月の場合)

$$\text{初回の利息分(補正なし)} = \text{借入金額} \times \frac{\text{利率}}{12}$$

- 端日数が[1～30]の場合(借入日から初回返済日が1ヵ月未満の場合)

$$\text{初回の利息分} = \text{借入金額} \times \text{利率} \times \frac{\text{端日数}}{365}$$

- 端日数が[31～62]の場合(借入日から初回返済日まで1ヵ月以上の場合)

$$\begin{aligned} & \text{初回の利息分} = \\ & \text{初回の利息分(補正なし)} + \text{借入金額} \times \text{利率} \times \\ & \frac{\text{端日数} - 30}{365} \end{aligned}$$

ボーナス併用払いに特有の計算

● 経過利息

M：直前の支払いから繰上返済(または借換)実施月までの月数

$$\text{経過利息} = \text{繰上返済額(ポ)} \times \frac{\text{利率}}{12} \times M$$

● ボーナス払い分の毎回の返済額

$$R : \text{利率(半年)} = \frac{\text{年利}}{2}$$

B：ボーナスによる返済回数

M：初回支払い月から最初のボーナス月までの月数
[初回ボーナスまで?]

ボーナス返済額 =

$$\text{借入残高(ポ)} \times \frac{R \left(1 + \frac{M}{6} R\right) (1 + R)^{(B-1)}}{(1 + R)^B - 1}$$

● 段階金利での2段階目のボーナス分返済額

$$R : 1 \text{ 段階目の利率(月)} = \frac{1 \text{ 段階目の利率}}{12}$$

$$R' : 2 \text{ 段階目の利率(月)} = \frac{2 \text{ 段階目の利率}}{12}$$

M : 初回支払い月から最初のボーナス月までの月数
[初回ボーナスまで?]

N : 2段階目でのボーナス返済回数

2段階目のボーナス返済額

$$= 2 \text{ 段階目移行時の借入残高(ポ} \times \frac{6R'(1+(6-M)R+MR')(1+6R')^{N-1}}{(1+6R')^N - 1}$$

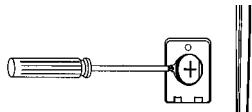
■ 電池交換のしかた

本機の電源には、リチウム電池(CR2032)を1個使用しています。電池が消耗すると、表示が薄くなります。その場合は、なるべく早く電池を交換してください。

電池交換をすると、前回入力した数値と各種設定が初期化されます。

- 本機が正常に使用できても、5年に一度は必ず電池を交換してください。

1. 本体裏側にある電池ブタのネジをドライバーで取り外します。
2. 電池ブタを取り外します。
注意：ケース内部の部品には、触れないようにご注意ください。
3. 電池の脇の穴にドライバーなどを差して電池を押し上げ、古い電池を取り外します。



4. 新しい電池の表面を、乾いた布でよく拭きます。
5. 電池の⊕側(平らな側)を上にして、電池を入れます。
6. 電池ブタを取り付けます。
7. 電池ブタのネジをドライバーで留めます。

■主な仕様

型 式	: BF-850
電 源	: リチウム電池(CR2032)1個
電 池 寿 命	: 1日1時間使用時 約3年 電源OFFで放置時 約5年
消 費 電 力	: 0.002W
使 用 温 度	: 0℃~40℃
大 き さ	: 幅116×奥行184×厚さ25.1mm
重 さ	: 185g(電池込み)

※ 電池寿命は、新品の電池を使用して周囲温度が20℃の場合です。低温での使用や電池の種類によって寿命が変わることがあります。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO